の前の一人の笑顔のために尽くす 創価教育の実践者に

育てながら、日々、真剣勝 るよう、可能性の〝芽〟を 増やし、自分に自信が持て 得意な科目に変えることが を大きく成長させるチャン 負で生徒と関わっています。 で、できることを少しずつ ス」と励まされ、苦手だっ 語の先生から「苦手は自分 に合わせた指導をすること 私が中学2年生の時、英

の副担任をしています。 数学の担当と特別支援学級 現在、都内の公立中学校で 特別支援学級の生徒たち 創価大学理工学部を卒業 教職大学院に進学し、

と決めました。 で学んで教師になろう!. をかけてくださり、「ここ しみにしています!」と声 して一緒に学べることを楽 見ず知らずの先輩が「合格 のため、一人ひとりの課題

かされました。受験当日、 輩の姿に、少しずつ心を動 持って創大の魅力を語る先 キャンパスに参加。誇りを さい」と言われ、オープン

加できなくなってしまうこ やもどかしさから授業に参 は、できないことへの焦り

せんでしたが、両親から

「自分で見て大学を決めな

ました。最初は選択肢の一 フレットを持ってきてくれ

つくらいにしか思っていま

できました。

とも少なくありません。そ

年間を過ごすことができま 金に採用され、充実した4 きな負担をかけましたが、 兄も大学生で両親には大 星原 律 さん 理工学部 2020年卒業 教職大学院2022年修了

理想の教師像を追い

かげで進学を実現できまし でしたが、給付奨学金のお 経済的な余裕はありません 深めたいと思っていました。 職大学院に進学し、学びを 大学1年生の時から、教

なお話を伺うことができ、 んだ先輩教員の方々の貴重 では小・中学校で経験を積 インでのディスカッション と、皆で一致団結。オンラ 授業を新たに作っていこう い事態に戸惑いましたが、 視野がとても広がりました。 前例が無いなら自分たちで に。誰も経験したことがな 始が遅れ、全てオンライン ところが、入学できたも 教育の目的はどこまでい

幸福になれるのか」と、本 持った「創価教育の探究者. ながら、それぞれの背景を など、具体的な事例をあげ 気で議論します。 は、「どうすれば子どもが です。創大の教職大学院で っても子どもの幸福のため 科目の教え方、生徒指導

> 本当に刺激的な2年間でし と互いに意見をぶつけあう

磨き、大学行事の運営など

数学教育の専門性を

を学びました。一生涯の友

いところで努力する大切さ にも携わり、誰も見ていな

れた日々は、私の最高の宝 情、創立者を身近に感じら

アイデアもすぐ思い付きま 行き詰まっていたかもしれ す。もし、教職大学院で学 りよい授業をつくっていく 探り当てることができ、よ で得た学びからその原因を 振り返った際に教職大学院 たとえ上手くいかなくても

実際に授業をするなかで

の連続ですが、今日も目の 学校現場は悩みと試行錯誤 必ずあると確信しています。 んなが笑顔になれる。その この子が笑顔になれば、み ある。輝ける場所がある。 妹のように無限の可能性が ます。目の前の生徒にも、 徒と以前の妹の姿が重なり ために自分にできることが

くす「創価教育の実践者」 として挑戦を続けていきま



の笑顔のために 今日も目の前の

なれました。一子どもの喜 しい」と妹も家族も笑顔に るようになり、「学校が楽 かったことが少しずつでき 先生方に支えられ、できな に通っていた妹が、親身な 大好きです。特別支援学校 す。家族全員、 的障がいを持った妹がいま 私には生まれながらに知 妹のことが





042-691-2

042-691-9475

平日/9:00~17:00 (土·日·祝日除<)

お問い合わせ先



syougakukin@soka.ac.jp



私も教育者を志しました。

今、教壇に立つ中で、生

い仕事だろう」と感動し、

きる教師は、何て素晴らし びを身近で感じることがで